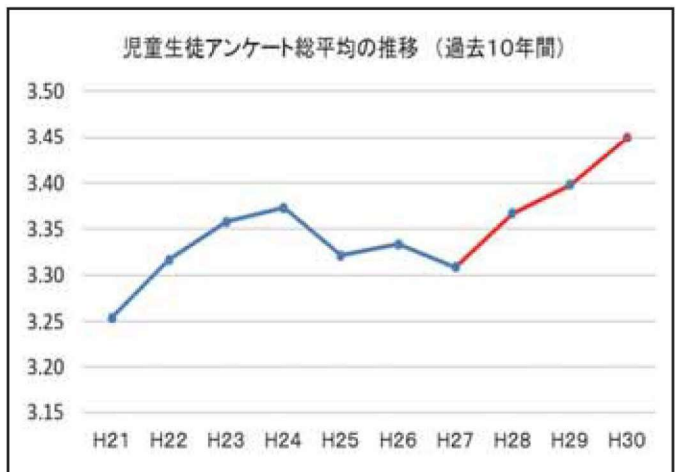
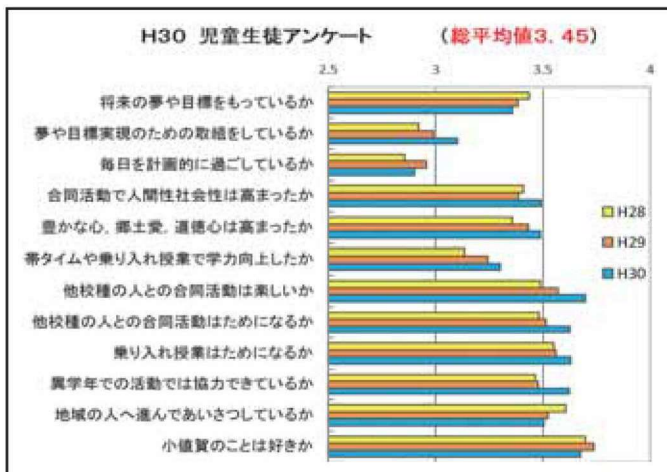


# 小中高一貫教育報告 149



## 平成30年度 小中高一貫教育検証アンケート結果

- 目的 小中高一貫教育の取組について、その成果と課題を検証し、今後の一貫教育の活動に生かす。
- 時期・対象 平成30年11月 各学校児童生徒・保護者・教職員
- 調査分析方法 選択式（1～4の4段階評価 4が最も高い評価）及び記述式で実施。  
※結果グラフは抜粋



### ○児童生徒のアンケート結果から

児童生徒の有用感・満足度を端的に表す総平均値は3.45（前年比0.05↑）で、統計を始めてから10年間で最高値でした。特筆すべきは、右グラフにおいて平成28年度から再度上昇をしていることです。改善策や新しい取組のアイデアが出され、小中高一貫教育はさらに発展的に進化を続けています。

## 平成30年度 小値賀地区小中高一貫教育 地区報告会

2月1日(金)、今年度の成果と課題を検証し、地域を含め内外に報告して広く意見を交換することで、小中高一貫教育のさらなる充実を目指すことを目的として、地区報告会を開催しました。

開会行事の後、経過報告と平成31年度の方角性について北松西高校釘島教頭より発表がありました。次に、教育課程部、学力向上部、養護部会の各担当者から、今年度の研究内容についての発表がありました。発表後は、地域・保護者・教育関係者の各方面から活発な質疑応答や意見交換もあり、これからの小値賀地区の小中高一貫教育を進める上で有用な助言を多くいただくことができました。

また、最後には、長崎県教育庁高校教育課高校教育班係長高島敦子様より、新しい教育の流れを踏まえた取組がなされている等の講評をいただきました。



小値賀地区の小中高一貫教育は、この地区報告会で得た知見もふまえ、さらに効果的な取組の検討に取りかかります。また、保護者・地域と連携をさらに深め、進めていく所存です。皆様にはこれまで以上のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

# 小中高一貫教育報告 150

本年度の「取組の方向性」および合同行事予定についてお知らせします。

## 本年度の取組の方向性

### ■ 学力の向上

- 「文章や資料などから必要な情報を読み取る力」を伸ばす教育実践
- 「根拠を明らかにして自分の考えを他者に説明する力」を伸ばす教育実践

### ■ 生活力の向上(たくましさの育成・キャリア教育の充実)

- 合同行事のPDCAサイクルの見直し・実践
- 「夢に向かってカード」「キャリア発展支援シート」の更新・活用

### ■ 家庭・地域との連携

- アンケートのスムーズな実施(日程の微調整等)
- おぢか新聞での情報発信の充実(更に魅力ある紙面)



## 本年度の合同行事予定

行 事	期 日	校種	内 容 等
小中高合同歓迎遠足	4月19日(金)	小中高	小中高の児童生徒が合同で行う最初の行事です。小学校、中学校、高校の新入生を歓迎し、全体でレクリエーションも行います。
第1回小中高一貫教育合同会議	4月19日(金)		教育委員会及び各学校の全教職員が一堂に会し、小中高一貫教育について理解を深め、活動内容を確認します。
公開授業ウィークス	6月17日(月)～ 28日(金)		小中高の各教科による公開授業です。
海浜清掃	6月17日(月) 予備日:18日(火)	小中高	奉仕活動を通して郷土を愛する心を育てます。
アジカまぼこ作り	6月25日(火)	小中	郷土の味について理解を深めます。
第2回小中高一貫教育合同会議	7月22日(月)		今年度の小中高一貫教育の進捗状況や各種行事について検証します。
中高合同体育祭	9月8日(日)	中高	目標に向かって中学生と高校生が自主的かつ協力的に活動を行います。
心の教育講演会	10月15日(火)	中高	小中高一貫教育後期における生徒の心の発達を助長することを目的とします。
研究授業ウィークス	10月15日(火)～ 25日(金)		小中高の各教科による研究授業。授業前後の検討などを通して、「わかる授業づくり」を目指します。
English Day	11月19日(火)	小中高	小学校5年生から高校3年生の生徒が一緒になって英語でのアクティビティに参加します。
第3回小中高一貫教育合同会議	11月25日(月)		小中高一貫教育の進捗状況の報告や県外視察の報告などが行われます。
人権学習会	11月29日(金)	小中高	社会の中で生きていくために、人権に関する問題に気づき、考えていくことの大切さを学びます。
小中ロードレース	1月29日(水)	小中	目標に向かって取り組む強い意志、持久力や忍耐力の育成を図ります。
地区報告会	2月14日(金)		1年間の成果を検証し、地域や外部への報告を行う会です。



今年度の歓迎遠足の様子は次号の小中高一貫教育報告で詳しく報告します。左の写真は昨年の歓迎遠足の時の集合写真です。

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

# 小中高一貫教育報告 151



## 小中高一貫歓迎遠足を実施しました

4月19日(金)今年度最初の合同行事である歓迎遠足を実施しました。前浜公園までの歓迎遠足は、春らしい爽やかな天候にも恵まれ、絶好の遠足日和となりました。

小中高児童生徒156名と職員が一堂に会し、開放的な自然の中で、小値賀の宝である子どもたちの元気な声が響き、笑顔もいっぱい溢れるとてもにぎやかな遠足になりました。歓迎集会の様子等を報告します。

### 目的

- (1) 新入生の入学を温かく歓迎し、学校・学年・学級の親睦を深める。
- (2) 小中高一貫教育校である意識を持たせるとともに、校種間を超えて交流をもつことにより、今後の小中高一貫行事に対する意識を高める。
- (3) 野外の活動を通じ、学校内での活動では得られない郷土の自然とのふれあいを体験させ、そのすばらしさを感じ取らせる。
- (4) 集団行動を通じ、協調、協力の精神を養う。

### 歓迎行事

- ① 新入生入場
- ② 高校生徒会あいさつ
- ③ 小1・中1・高1年生の学級紹介
- ④ 各学校転入職員紹介
- ⑤ レクリエーション
- ⑥ 集合写真撮影



歓迎の大きな拍手の中、小1、中1、高1年生の順に入場しました。

学級紹介では、小学校の1年生は、自己紹介と自分の好きなものを発表しました。中学生、高校生は他己紹介のあと、趣向を凝らした出し物で、みているみんなを釘付けにしていました。



レクリエーションは、小中高生全員で、「じゃんけん列車」をしました。小学生を勝たせてあげたい高校生。勝負の世界はそううまくはいきませんね。苦笑いしながらも続行です。小中高合同らしい微笑ましい光景もたくさん見られました。

子ども達にとってお楽しみの“お弁当タイム”。みんなで輪になって食べました。「うわあ、かわいい!!」「美味しそう!!」これからの小値賀町を支える子ども達同士、美味しいお弁当にたくさんの笑顔が添えられて、素敵な時間を過ごすことができました。

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

# 小中高一貫教育報告 152



## 中学2年生職場体験学習【総合的な学習の時間】で「はたらく」意義を学ぶ

5月21日(火)～23日(木)の3日間、中学2年生の11名の生徒が職場体験学習を行いました。

事前準備では、実際にお世話になる事業所へ電話をかけたり、訪問して打ち合わせをしたりしました。電話での体験活動のお願いや、事前打ち合わせを全て生徒自身で行いました。初めてのことで、緊張した表情を見せていましたが、どの生徒も自分の力でやり遂げることができました。

さて、当日を迎え、生徒の様子を見ると、どの生徒も緊張した面持ちながらも、事業所の方に支えられながら、一生懸命に取り組んでいました。荷出しをしている生徒、園児やお年寄り、町民の方とふれあっている生徒、掃除をしている生徒…様々な活動をしている生徒の姿がありました。

この職場体験学習を通して、普段の学校生活では学ぶことのできない、「地域の方とふれあいながら自分で気づき、考え、行動する」という地域の一人としての大きな役割を学ぶことができました。3日間の活動を終え学校に戻ってきた生徒の表情は達成感でいっぱいでした。

小値賀地区小中高一貫教育は、全体目標として『一人ひとりの夢の実現』を掲げています。この職場体験を通して、自分の夢や将来の進路について、より深く真剣に考える一助となりました。

今回、職場体験学習を快く引き受けてくださった事業所の皆様、温かく見守ってくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。

### 下記の場所でお世話になりました！



大阪屋



漁協



tan tan



図書館



健康管理センター



駐在所



横山文具店



こども園



消防署



診療所



(有)こつじ石油



小値賀小中学校

### 【「生徒へのアドバイス」事業所の方々のアンケートより】

- 自分も役に立ちたいという積極的な姿が見られました。自分に合った将来を見つけてもらいたいです。
- 何も分からず不安だったと思いますが、最後まで一生懸命頑張ろうとする姿勢が見られました。

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

# 小中高一貫教育報告 153



## 小中高合同海浜清掃をしました

6月17日に、小中高合同で船瀬、浜崎鼻、大島、学校周辺の清掃活動を行いました。当日は、児童生徒がいくつかのグループに分かれ、高校生のリーダーを中心にみんなで協力して活動しました。

船瀬では、活動のまとめとして高校生が「ごみを捨てる人がいるから海や浜辺がごみでいっぱいになる。私たちは、ごみを捨てないようにして、きれいな小値賀の海を守っていこう。」と呼びかけ、海浜清掃は終了しました。



## アジかまぼこ作り ～小値賀のアジかまぼこを作ろう～

「ふるさとの味・かーちゃんの味」つたえよ一会の皆様、産業振興課の皆様のご協力の下、小学3年生と中学3年生が合同で「アジかまぼこ作り」を行いました。事前学習では、家庭でのインタビューや、栄養教諭の話、DVD視聴などを通して、アジかまぼこについて調べてまとめました。

そして、当日。まずは、事前学習でまとめた「作り方」を小学生が発表しました。そして、かーちゃんの会の方からアジのさばき方を教えていただいた後、アジかまぼこ作りがスタート。まず、中学生がアジをさばき、小学生が身を削り取った後、みんなで協力してすり鉢ですり潰したり、茹でて冷やしたりして、アジかまぼこが完成！出来上がったアジかまぼこは、みんなで美味しくいただきました。



(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

# 小中高一貫教育報告 154

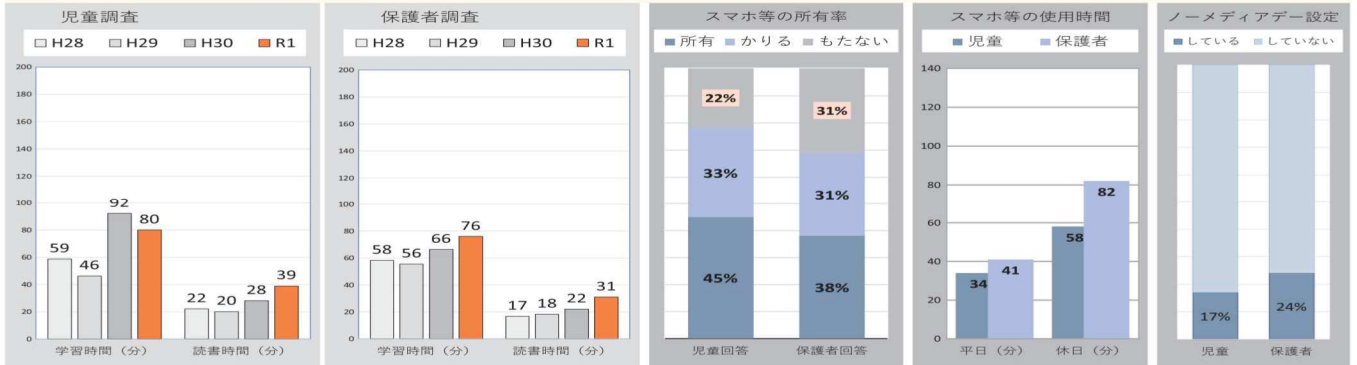


## 生活アンケートについて

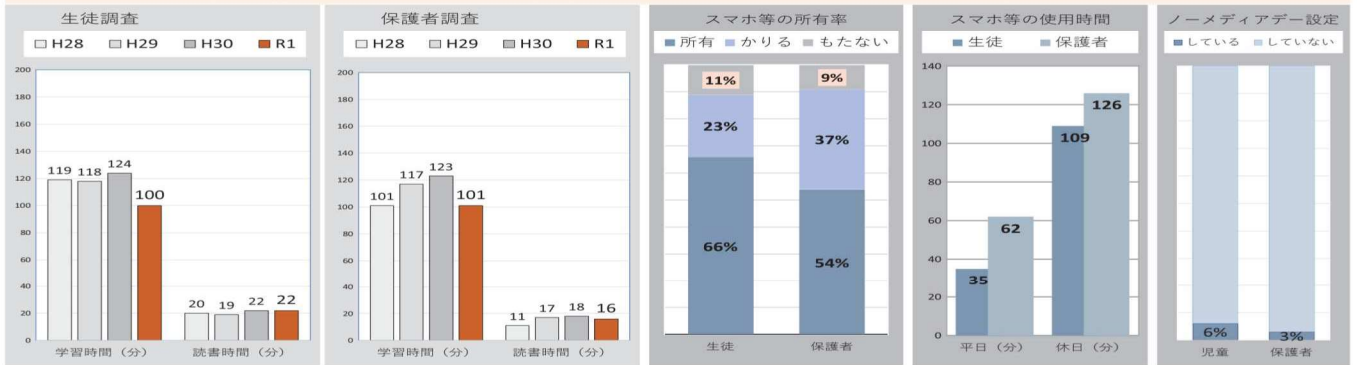
記録広報部

小値賀町の児童生徒の生活の様子について、今年度もアンケートを実施しました。各校種ごとに結果をお伝えします。今年度は、「家庭学習」「家庭読書」のそれぞれの時間について、過去4年間の推移を比較しています。また、家庭における「ノーメディアデー」の設定状況についても掲載しております。ご協力いただいた児童生徒、保護者のみなさん、ありがとうございました。

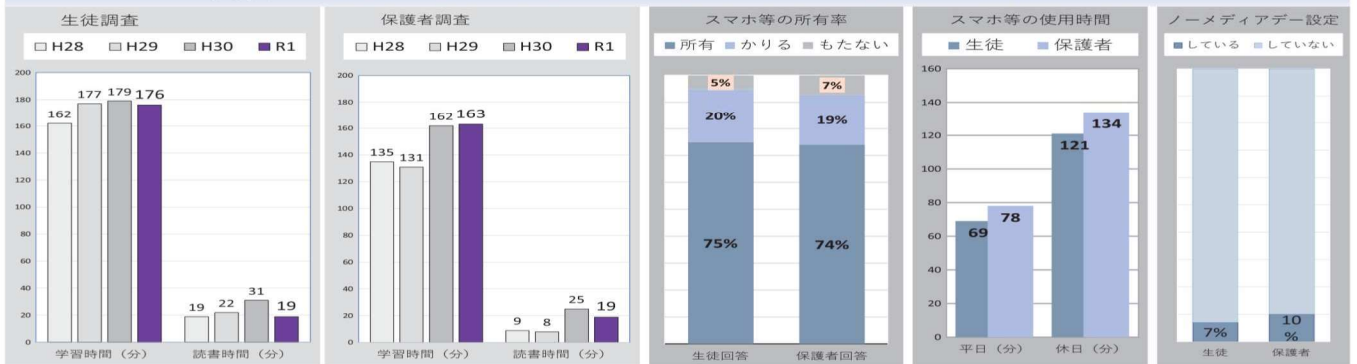
### 小学校（調査対象…第4～6学年児童・保護者36名、調査期間…R1.6.7～14）



### 中学校（調査対象…第1～3学年生徒・保護者35名、調査期間…R1.6.7～14）



### 高校（調査対象…第1～3学年生徒・保護者44名、調査期間…R1.6.7～14）



#### 【結果】

##### ○学習時間について

- ・小学校において増加傾向にある。
- ・中学校において今年度は減少している。
- ・高校生はこの3年間、概ね変わらない。

##### ○読書時間について

- ・小学生は増加傾向にある。
- ・中学生は概ね変わらない。
- ・高校生は3・4年前と比べると増加しているが、昨年比で減少している。

##### ○メディアについて

- ・メディア等の所有率は、学年が上がるにつれて増加している。
- ・休日の使用時間が、平日のおよそ2倍となっている。
- ・使用目的は、年齢が上がるにつれコミュニケーションツールへと変化している。
- ・ノーメディアデーの設定率は、全体的に低い。

#### 【課題と対策】

##### (小学校)

- 引き続き家庭学習の習慣づくりに取り組む。
- 読書時間や教科学習を通して、本に親しむ機会を大切にする。

##### (中学校)

- 家庭学習60分以下の生徒が増加したことが全体的な減少となっている。
- 読書について「全くしない」回答が昨年度より増加しており、30分未満の生徒が過半数。「表現力、読解力」の向上のためにも読書時間の改善が必要である。

##### (高校)

- 学習時間については近年の3年間は概ね変化はなく安定してきたことは良いこと。学習の質を高め、学力そのものを伸ばす必要がある。教科指導の工夫を中心に、一人ひとりの生徒が各教科の学習方法を理解し実践できる状態にしたい。
- 読書離れに歯止めがかかっていない状態。選書・学級文庫の設置などの取組を継続し、家庭や地域と連携して読書に親しむ姿勢を身に付けさせたい。

# 小中高一貫教育報告 155



## 第20回中高合同体育祭を開催しました。

9月8日(日)、雨の影響で一部体育館にて競技を実施致しましたが、無事に記念すべき第20回中高合同体育祭を開催することができました。今年度は「Never Give Up」のスローガンのもと、中学生と高校生が青ブロック、赤ブロックに分かれ、熱戦を繰り広げました。今年度も中学生・高校生合同の組体操と女子のダンスが披露され、好評の声を頂くことができました。早朝よりご来賓の皆様や、多くの保護者・地域の方々にご来場いただき、生徒たちに熱い声援をいただきましたことに心から御礼申し上げますとともに、今後とも小中高一貫教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



赤組の入場行進



青組の入場行進



中学生代表、高校生代表による選手宣誓



体育祭の名物競技ハッスルマッスル



中高女子による  
「Girls Power 2019 ～小値賀を元気に～」



中高男子合同組体操「ピラミッド」



赤組の応援合戦の演舞



青組の応援合戦の演舞



白熱した戦いが繰り広げられた  
ブロック対抗リレー



総合優勝の赤組



全体集合



チームワーク部門優勝の青組

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

# 小中高一貫教育報告 156



## 「N I E」の取組を紹介します

小値賀小学校、小値賀中学校、北松西高校では、小中高一貫教育の一環として、それぞれの学校において、児童生徒の発達段階に応じたN I Eの取組を行っています。

### N I Eとは・・・

N I E (Newspaper In Education=「エヌ・アイ・イー」) は、学校等で新聞を教材として活用し、興味や関心の幅を広げる社会運動のことで、「教育に新聞を」という意味です。

	実 施 方 法
小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯タイムを使って実施する。</li> <li>・ 低学年、中学年は書くことが中心。高学年は、書いて交流するまでとする。</li> <li>・ 新聞記事は、低学年で同じ記事、中学年で同じ記事、高学年で同じ記事を読む。</li> </ul>
中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯タイムを使って実施する。</li> <li>・ 全学年同じ内容の新聞記事を読み、教員が設定した発問に対する自分の意見を書く。</li> <li>・ グループ内で発表し、意見交換や討論を行う。その後、グループ内でワークシートを交換し、意見や感想を書きこむ。</li> <li>・ 校内掲示し、他学年の考えも共有する。</li> </ul>
北松西高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 週6回実施。</li> <li>・ 教員が選んだ新聞記事を朝読書の時間に読み、問いについて答える。</li> <li>・ 回収後、教員がコメントを入れ、優秀作品を選出し、職員室前のホワイトボードに掲示する。</li> </ul>

## ★具体的な実施内容紹介(中学校) ～海の問題について考えました～



ワークシートを校内に掲示し、他学年の考えを共有しています。

問：海洋プラスチック問題を受けて、プラスチック（ビニール、ペットボトル、発泡スチロール等）の利用を完全になくすことに賛成ですか。その理由も含めて書きなさい。

### <生徒の考え>

- 賛成です。理由は、プラスチックは1年に800万トンが流入していて、海の生物が死んだり傷ついたりするからです。海の問題を解決するためには、プラスチックを使うのではなく、紙を使った物で、すぐに自然分解できるものを作るといいと思います。
- 反対です。完全になくすのではなく、リサイクルで補えばいいと思う。プラスチックはとても丈夫で便利な物だから。そのために、100%回収を目指していくべきです。

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)



# 小中高一貫教育報告 157



## 小中高一貫教育研究授業ウィークスのご参観 ありがとうございます

小中高一貫教育がスタートして12年が経過しました。令和元年度は、「文章や資料などから必要な情報を読み取る力の育成」「根拠を明らかにして自分の考えを他者に説明する力の育成」の2点を目標に、職員一丸となり学力の向上に向けて授業に取り組んでいます。研究授業ウィークスを実施するにあたり、今年度は一斉研究授業を2本行いました。今回は一斉研究授業を行った、北松西高の金子先生、小値賀中の山口先生の実践を紹介します。

### 北松西高 2年β 数学「図形と漸化式」

授業者 金子大輔

今回の研究授業は、図形の問題を数列の知識を使って解決しました。まず、3つの班に分かれて、班ごとに別の問題を解きました。その後、それぞれの班のメンバーが1人ずつ存在するように班を組み直しました。そして、その班で最初に与えられた課題を解決しました。班で協力して問題に取り組むことで、難易度の高い問題も自分達で解くことができました。



### 小値賀中 2年 英語「Universal Design」

授業者 山口直美

ユニバーサルデザインを題材にした導入の授業において、いかに生徒と題材をつなげるかが授業のポイントとなりました。語彙や文法はコミュニケーションを支えるものとし、教科書の題材を通して、生徒が学習する内容とともに英語表現が定着していくことを、今後も目指していきます。代表授業の機会を得て、多くの先生方にご参観やご意見をいただき大変勉強になりました。ありがとうございました。



上記の一斉研究授業の他にも、たくさんの先生方がウィークス期間中に授業を公開しました。今後も、小値賀っ子のさらなる学力向上に向けて、職員一同がんばります。

校種	学年	授業者	教科	授業内容
大島分校	4・5年	重富増美	国語	「ウミガメの命をつなぐ」 「世界遺産白神山地からの提言」
中学校	1年	黒崎徳嗣	保体	器械運動（マット）
小中合同	小4 中3	須藤泰平 関口美穂子 石井洋治	理科	季節と生きもの
北松西高	1年	小田崎聖	地歴	南北戦争後のアメリカ社会と移民
	1年	前田真希	音楽	混声3部合唱『Gift』
	1年	宮本あずさ	家庭	持続可能な生活を考えよう
	2年α	砂田一步	英語	A Space Elevator

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

# 小中高一貫教育報告 158



11月の小中高一貫行事は、子ども職員も楽しみにしている「English Day」が19日に、前期・中期・後期で分かれて行う「人権学習会」が29日に行われました。

## English Day (イングリッシュデー)



今年度も小学校5年生から高校3年生までと一緒に活動しました。最初は体育館に全員が集まりウォーミングアップをし、その後はグループに分かれてタスク(課題)達成型の活動を行いました。今回のテーマは「オリンピック」。さまざまな競技(先生方が待機する場所)へ行き、グループのみんなで力を合わせて課題を解決していきました。もちろん会話は全て英語です！楽しみながら英語を聞き、英語を使う貴重な機会でした。

## 人権学習会

### <前期：小学校1年生から4年生まで>

前期のねらいは「自分やまわりの人を大切にし、困っているときには力を合わせ、互いのよさを生かし、助け合い支え合おうとする心情や態度を育てる」です。最初に4年生が福祉体験で学んだことの発表があり、各学年の決意表明がありました。グループに分かれてからは「人間コピー機」「たずねびとゲーム」を行い、仲間と協力して活動を行いました。最後に「ともだちになるために」を合唱し、体育館全体が美しい歌声に包まれました。



### <中期：小学校5年生から中学校1年生まで>

中期のねらいは「様々な視点から物事を考え、文化や個性の多様性を認め、人権尊重の精神を育む態度を育てる」です。グループワークでは、「ヒューマン・チェア」「ヒューマン・チェーン」「すごろくトーク」を行いました。相手のことを考え、お互いを理解しながら活動することができました。「ちがいのちがいがい」では、「あっていいちがいがい」と「あってはならないちがいがい」についてグループで話し合い、意見交換を行いました。



### <後期：中学校2年生から高校3年生まで>

後期のねらいは「人によって感じ方が違うことに気づいたり、互いの意見を認め合ったりすることを通して、自他の人権を尊重しようとする意識を高める」です。イラストを見て、人権が尊重されている場面、侵害されている場面がないか、グループに分かれて話し合いを行いました。一人一人の価値観や感じ方が違うことに気づき、自分以外の人の意見を認めようとする大切さを学びました。



# 小中高一貫教育報告 159



## 小中高合同会議が開催されました

令和元年11月25日(月)に第3回小中高一貫合同会議を行いました。各教科部会に分かれ、今年度取り組んだ公開授業や研究授業について反省を行い、次年度に取り組む内容を話し合いました。これからも小値賀の教育の発展に一生懸命取り組んでいきたいと思えます。会議の詳細は下記の通りです。

### 令和元年度 第3回小中高一貫教育合同会議

日時：令和元年11月25日(月) 13:45~16:20

場所：小値賀小中学校 多目的室

内容：開会行事

- ①総務部 ・地区報告会について
- ②教育課程部 ・合同行事について ・PDCAサイクルの経過報告、予定について
- ③記録広報部 ・検証アンケートの結果報告について ・集録作成について
- ④学力向上部 ・公開授業、研究授業ウィークスについて ・NIEについて※1
- ⑤視察及び研修報告
- ⑥各部会での研究協議

## 小値賀地区小中高一貫教育「地区報告会」開催のお知らせ

令和2年2月14日(金)に、令和元年度の研究内容を報告し、広く意見を求め、次年度以降の小中高一貫教育の取組の改善に役立てるために、小値賀地区小中高一貫教育「地区報告会」を開催いたします。各部会からの研究発表・研究協議等が行われます。お忙しい時期とは存じますが、町民の方々の参加を是非お待ちしております。報告会の詳細は下記の通りです。

### 令和元年度 小値賀地区小中高一貫教育「地区報告会」

日時：令和2年2月14日(金) 13:50~16:30

出席者：来賓、地区推進委員、他地区一貫教育関係者、一般参加者

場所：小値賀町離島開発センター町民ホール

内容：開会行事

令和元年度の研究発表

- ①総務部
- ②教育課程部 (PDCAサイクル、キャリア・パスポート、合同行事)
- ③学力向上部 (数学、芸術、国語、NIE※1、英語科の取組)

質疑応答・研究協議

指導助言

閉会行事

※1 NIE (Newspaper in Education = 「エヌ・アイ・イー」と読みます) は、学校などで新聞を教材として活用することです。

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

# 小中高一貫教育報告 160



## 残念ながら… 今年度の小中合同ロードレース大会は中止

1月29日(水)に予定されていた小中合同ロードレース大会は、悪天候とインフルエンザ流行のため、実施が見合わせられました。本番当日を迎えるまで、小学6年生2名と中学生7名によって結成された「ロードレース実行委員」を中心に準備と練習を重ねてきました。小学生と中学生、同じ校舎にいたながらも一緒に活動できる機会は限られています。今年度も班の顔合わせの時に合同給食会を実施し、交流を深めました。練習では中学生は小学生を励ましなが、また、その頑張る小学生の姿に中学生も刺激されお互いに力を高めあいました。

大会前日には、これまでの活動をまとめたビデオを視聴し、気持ちを盛り上げました。さらにこの小中ロードレース大会のために高校生が事前に道路を掃除してくれるなど、小中高の強い絆を実感することができました。



### 【中学生実行委員長コメント】

最初は自分にできるかととても不安でした。他の実行委員や昨年の実行委員長だった先輩にアドバイスをもらうなどして、きちんと仕事を行うことができました。小学生と一緒に取り組んで刺激をもらいました。



小学校: 試走風景(試走だって、手を抜きません!!) 迂回のご協力や声援等、ありがとうございました。



(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)